

栝楼仁

別名：栝楼子、瓜呂仁、枯萐仁

基原植物：キカラスウリまたはオオカラスウリの種子

中国 トウカラスウリの種子

キカラスウリ：日本の各地に自生

オオカラスウリ：東亜暖帯(東南アジア、マレーシア)に分布、四国や九州に自生

トウカラスウリ：中国、朝鮮半島、インドシナ半島

果実：栝楼実(栝楼、全栝楼)→果皮を栝楼皮、種子を栝楼仁(栝楼子)

種子を圧搾し油分を除いたもの栝楼霜または楼仁霜

根：栝楼根(天花粉)

産地：安徽省、江蘇省、湖北省、広東省

主要成分：脂肪油(脂肪酸)25%；不飽和脂肪酸が 66%(トリコナン酸が主、オレイン酸、リノール酸、

リルイン酸、など)、飽和脂肪酸が 30%

トリテルペン；カウジオールなど

その他：でんぷん、たんぱく質

薬理作用：①抗菌作用；大腸菌、チフス菌、赤痢菌

②抗腫瘍作用；肉腫、腹腔内播種 アルコール抽出成分で抗癌作用(脂肪酸には効果なし)

③免疫賦活作用：インターフェロン誘起作用

④抗消化性潰瘍作用：エタノールエキス ⑤血小板機能抑制作用：トリコナン酸

⑥アルコール代謝促進作用：水性エキス

性味：甘、(苦)、寒 帰経：肺、胃、大腸、

効能：①去痰作用、潤肺作用；清熱化痰、潤肺化痰、利気寛胸、降濁散結

②止痛作用；利気寛胸、散結

③通便作用；潤腸通便、利気通便(腸燥、煩渴のある熱性便秘に)

麻子仁；気虚、腸燥便秘、桃仁；血瘀鬱熱の便秘

④排膿作用、消炎・抗炎症作用；消腫散結

主治：熱性の咳・痰、狭心痛、乾燥性便秘、化膿性の腫れ物(肺化膿症、乳腺炎)、乳汁分泌不足(民間では尿や母乳の出をよくするために煎じて服用)

出典：本草備要；その薬能は上焦の火を清し、痰気を下降せしめ、胸中の鬱熱、垢膩を蕩滌し、津を生じ、渴を止め、咽を清し、膈を利す

日華子諸家本草；虚勞口乾を補い、心肺を潤し、手、面の皴、吐血、腸風、瀉血、赤白痢を治す。並びに炒用す。

薬徴；胸痺で、心、背にまで痛みが及び、咳唾し喘息するもの、及び結胸満痛を治す

重校薬徴；痰飲を主治す、故に結胸、胸痺、心痛、喘息、咳唾を治す

古方薬議胸痺を主り、心肺を潤し、咽喉を利し、胸膈の鬱熱を去り、痰結をそそぎ、治嗽の要薬と為す

配合応用：①栝楼仁＋半夏；

② 〃 　　＋薤白

③ 〃 　　＋貝母

④ 〃 　　＋枳実

配合処方：①柴陷湯、小陷胸湯、栝楼枳実湯

②栝楼薤白白酒、栝楼薤白半夏湯、枳実薤白桂枝湯